



■2年生が見学旅行（10月15日～18日）

どの世代でも、高校生活の一番の思い出に挙げるのが「見学旅行」です。2年生は、今年も予定通り大阪・京都・奈良と関西方面を巡ることができました。

■1年生がインターンシップで林業体験（10月13日）

1年生を対象にした職場体験を行い、胆振地域林業担い手確保推進協議会の協力で、町内外で林業に触れました。町内の被災森林と植栽現場を見学した後、苫小牧市で製材・加工を行う株式会社ヨシダの製材工場を訪問。生徒たちは、一連の作業を通して林業の魅力を知りました。進路選択の1つとしてほしいです。

■1年生が苫東視察見学（10月19日）

北海道経済部産業振興局の協力で、苫小牧市内の2工場を見学しました。ものづくり企業への理解を深めるのが目的です。いすゞエンジン製造北海道㈱と㈱中予精工を訪問し、ものづくり企業の製造現場を通して、その魅力に触れることができました。

■防災教室（10月27日）

今年、自衛隊第7特科連隊による防災教室を実施しました。午前は3グループに分かれ救急法や搬送の訓練を行い、午後は水害対策など含めた防災講話を行いました。災害に遭遇した際の対処法および災害支援について理解を深め、災害時に周りの人を「支える力」「助ける力」について学びました。

■2年生が職場体験学習（10月31日～11月2日）

働く喜びや厳しさ、自身の能力や適性を知るために2年生の職場体験学習を行いました。地域社会と連携を深めながら職業観や労働観を育成し、地域の仕事に理解を深めました。訪問先は、ガイア動物病院、山田牧場、厚南中学校、青少年センター図書室、宮の森子ども園、こども園つみき、厚真福祉会、厚真町まちなか交流館、理容ぼん、自衛隊。ご指導とご協力ありがとうございました。



林業体験



厚真人カルタをつくらう

10月末から11月末にかけて、厚真高校2年生による職場体験学習が行われました。今年度より学校とよりみち学舎で協働して職場体験学習を実施

しています。たとえば事業者さまとの調整や職場体験当日の見回りといった仕事を、よりみち学舎のスタッフと学校で協力して実施することができました。

厚高生にとって、職場体験は新鮮な学びの場となりました。当日の様子を見に行った時に聞いた生徒の感想をいくつかご紹介します。「中学校の先生の授業を改めて聞くと、先生たちはとても工夫して授業をしていたということが改めて分かった」（厚南中学校）、「子どもたちが予想以上に元気いっぱい最初は戸惑った。それでもまた来て何かお手伝いしてみたい。園舎がきれいで羨ましい」（宮の森子ども園）、「牛（ホルスタイン）がかなり大きく感じて潰されるかと思った。牧場の中に入ったことがなかったのが驚きの連続だった」（山田牧場）。新たな経験が、五感を刺激していました。

併せて、事業所の方にインタビューも行いました。インタビューをもとに「厚真人カルタ」を制作します。町民の皆さんを写真とキャッチコピーで紹介するもので、12月の授業で職場体験学習と共に厚真人カルタを発表します。厚高生が町民との出会いを大切に、見て・聞いて・感じた厚真人カルタ。今から楽しみです。

教育魅力化支援員 川嶋 圭



子ども園で職場体験する厚高生

よりみち通信



「よりみち学舎」は厚真高校と地域が連携しながら放課後を利用して生徒が自ら目標を発見し挑戦する公営塾です。